

一級河川豊穂川の整備 に伴う新川橋の架替え について

令和5年3月

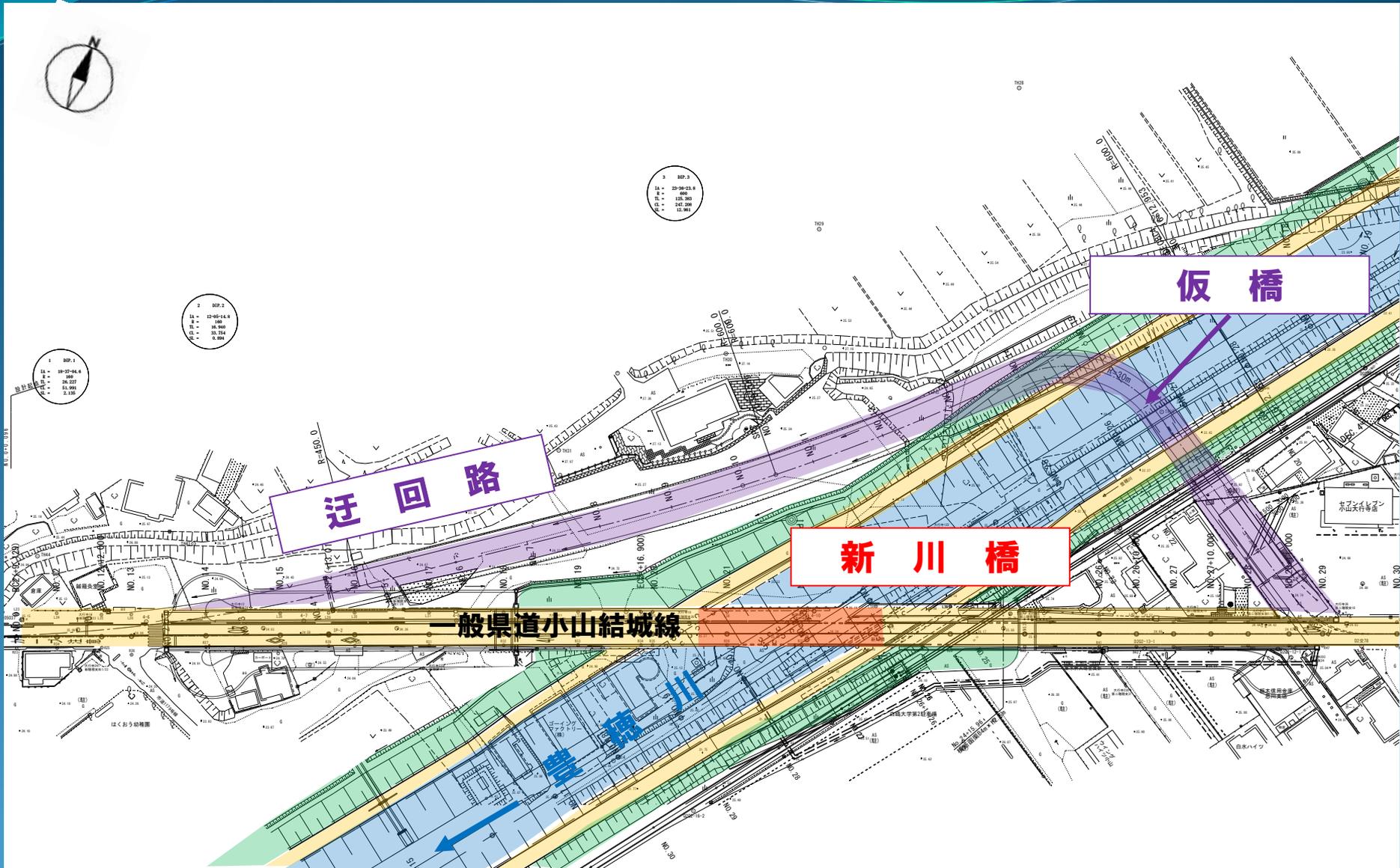
栃木県栃木土木事務所
小山市治水対策課

新川橋の現況

- 架設年次：昭和29年
- 一級河川豊穂川の整備により、河道が拡幅されるため、小山市より橋梁架替え及び取付け道路の整備を受託

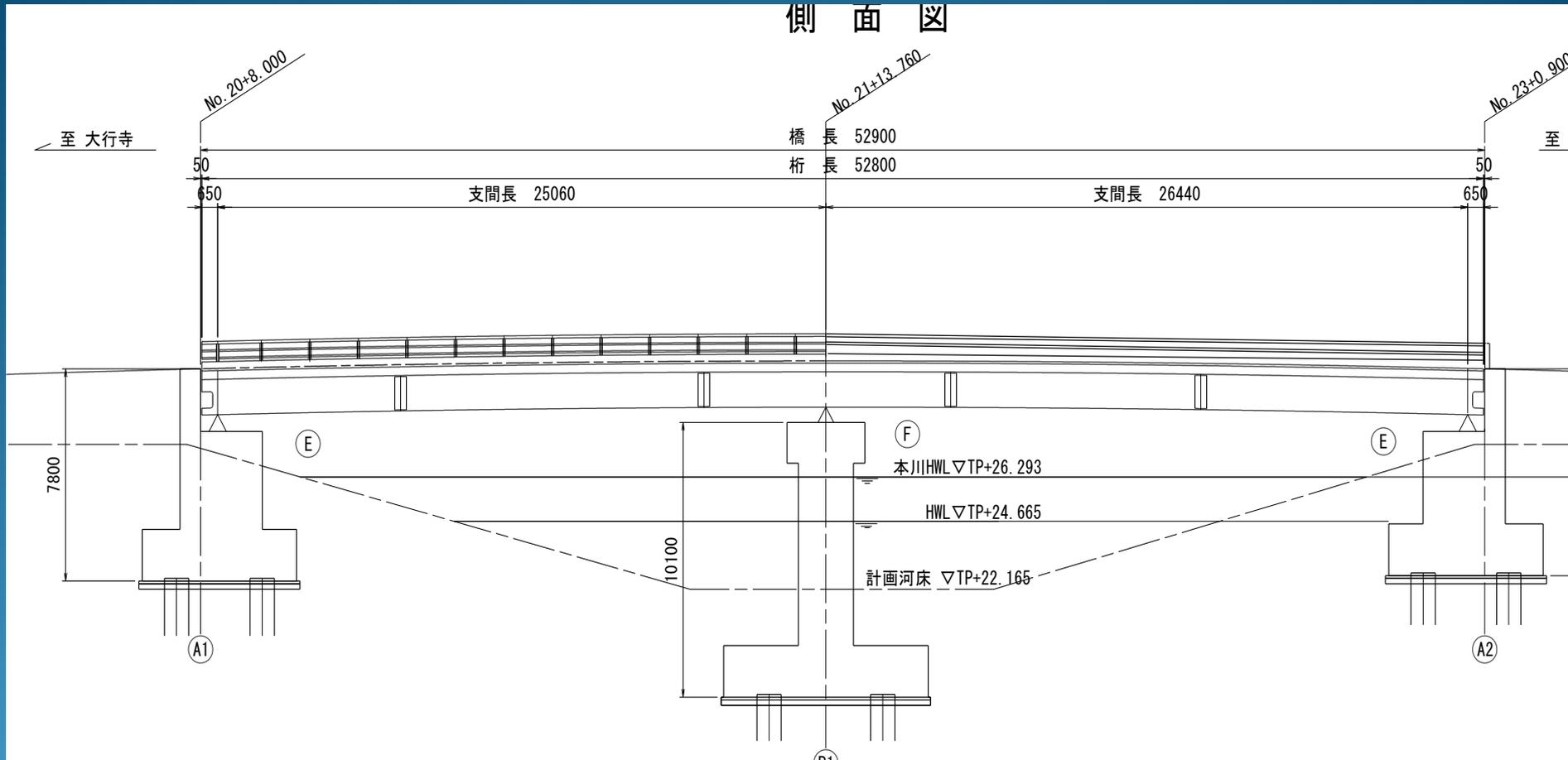


(新) 新川橋の概要 (平面図)



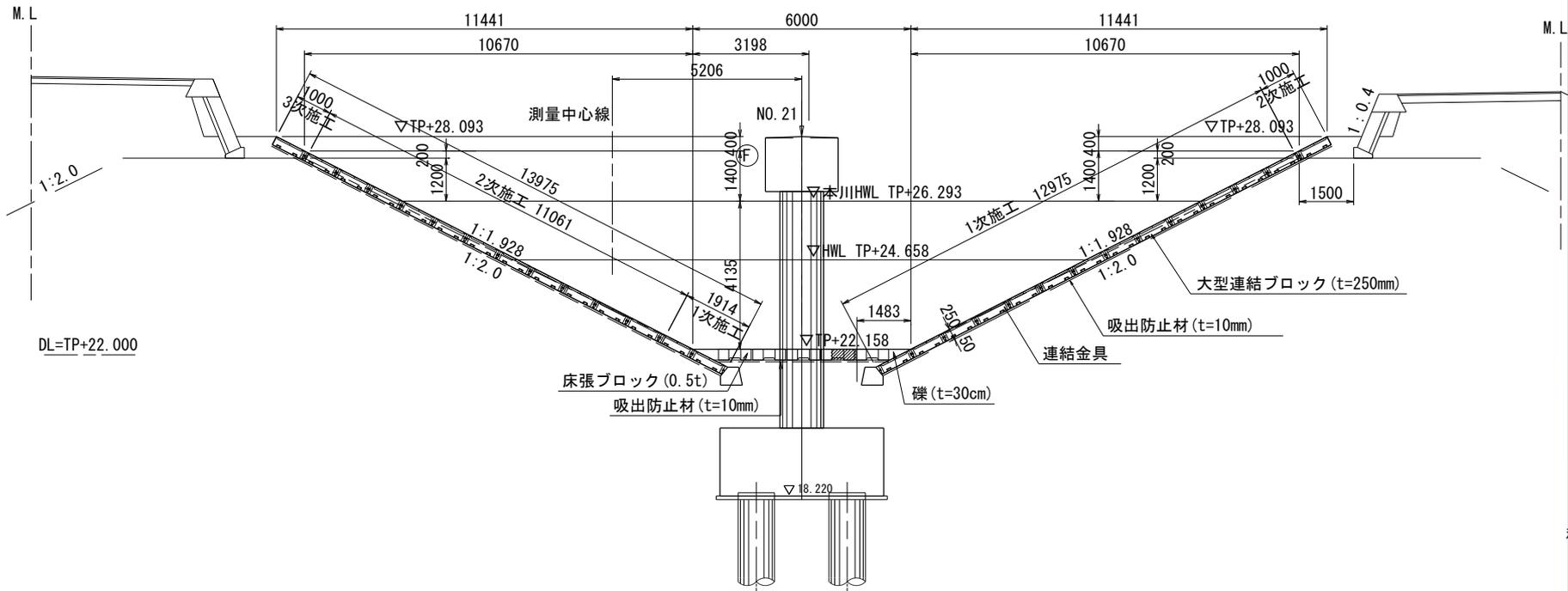
(新) 新川橋の概要 (橋梁)

側面図



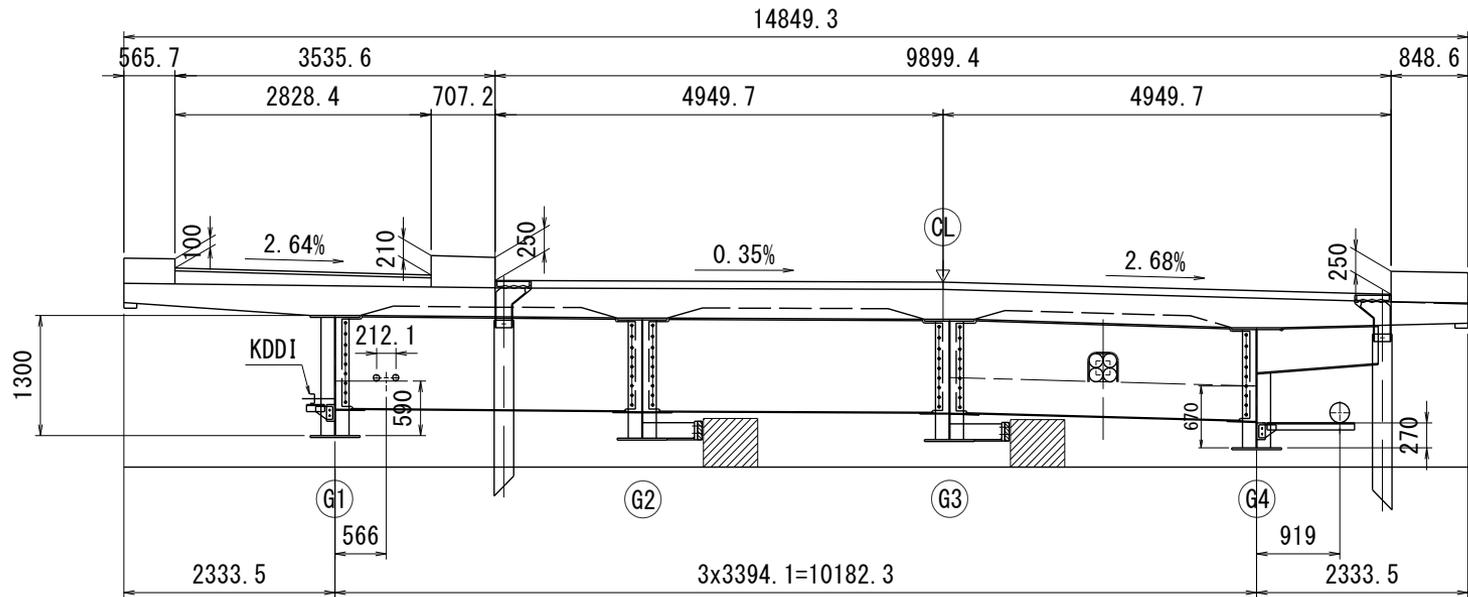
(新) 新川橋の概要 (護岸)

標準断面図 S=1:100



(新) 新川橋の概要 (断面図)

断面図 S=1:60
端支点(S1)上横桁



(新) 新川橋の概要 (下流から)



(新) 新川橋の概要 (上流から)



側道の整備について

1. 整備の目的

一級河川豊穂川の河道整備に伴い、新川橋の高さが上がるため、橋に取付く道路(県道)が高くなり、県道の沿線土地への出入りができなくなります。

→県道の沿線土地への出入りができるように「側道」を整備します。

2. 整備の考え方

- ・側道は「市道」として整備し、小山市が維持管理します。
- ・側道幅員は5.0mです(対面通行が可能です)。
- ・県道から側道、側道から県道は「右折、左折で出入りが可能」です。

側道のイメージ写真



ボックスカルバートの整備について

1. 整備の目的

県道両側の側道を行き来できるように、県道下にボックスカルバートの整備を行い、県道両側の側道を接続します。

2. 整備の考え方

- ・ボックスは市道として整備し、小山市が維持管理します。
- ・ボックス内の幅員は4.0mです（対面通行はできません）。
- ・ボックス内の高さは2.5mです。

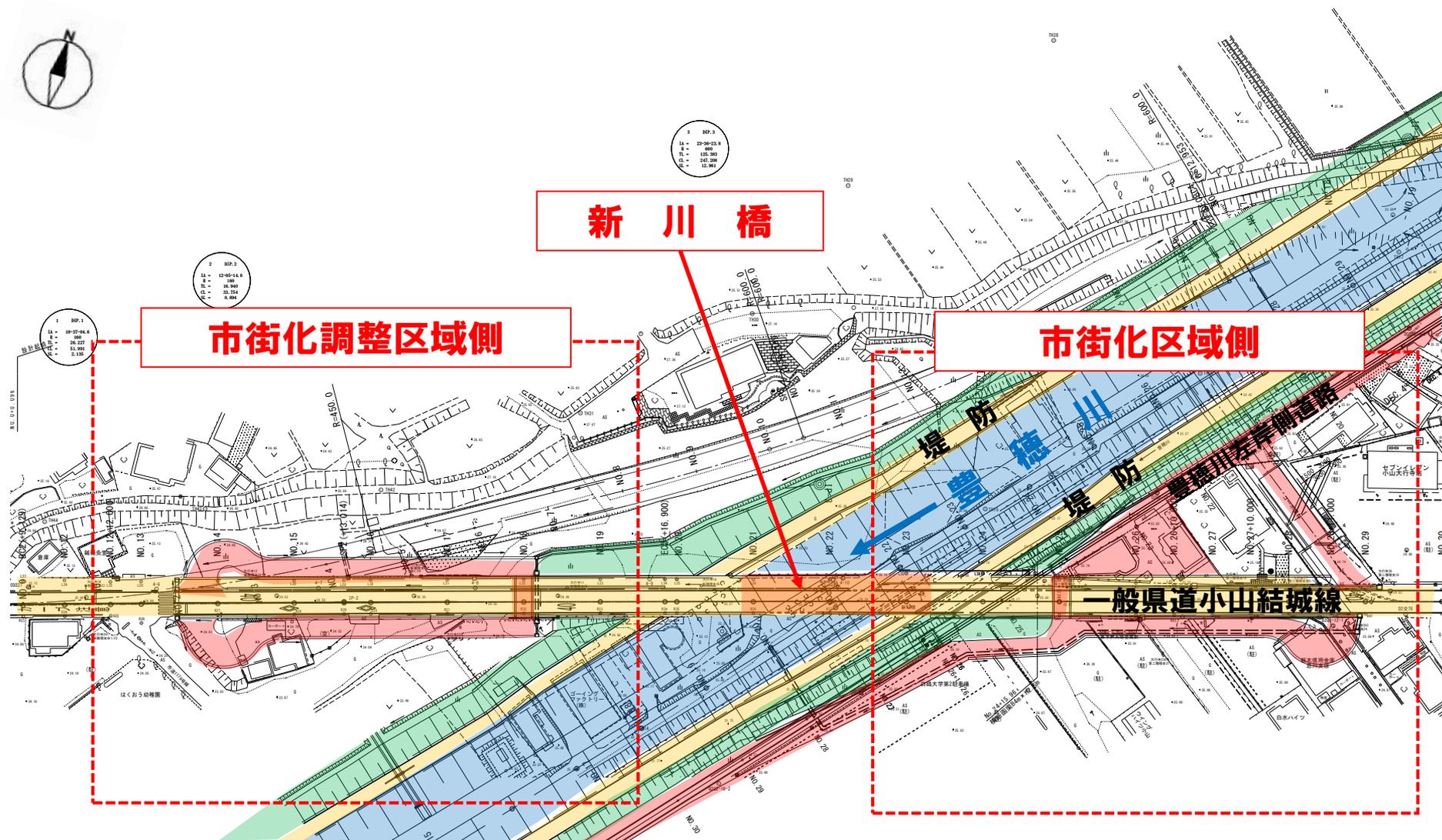
※令和4年6月の地元説明会では、ボックスは「高さ2.5mとなるため自転車・歩行者のみの通行」と説明しましたが、「周辺道路の整備に合わせて自動車の通行も検討してほしい」との意見をいただいたことから、道路管理者、警察と協議を行い、2.5mの高さ制限を設けることで車両の通行も可能とする方針としました。

ボックスカルバートのイメージ写真

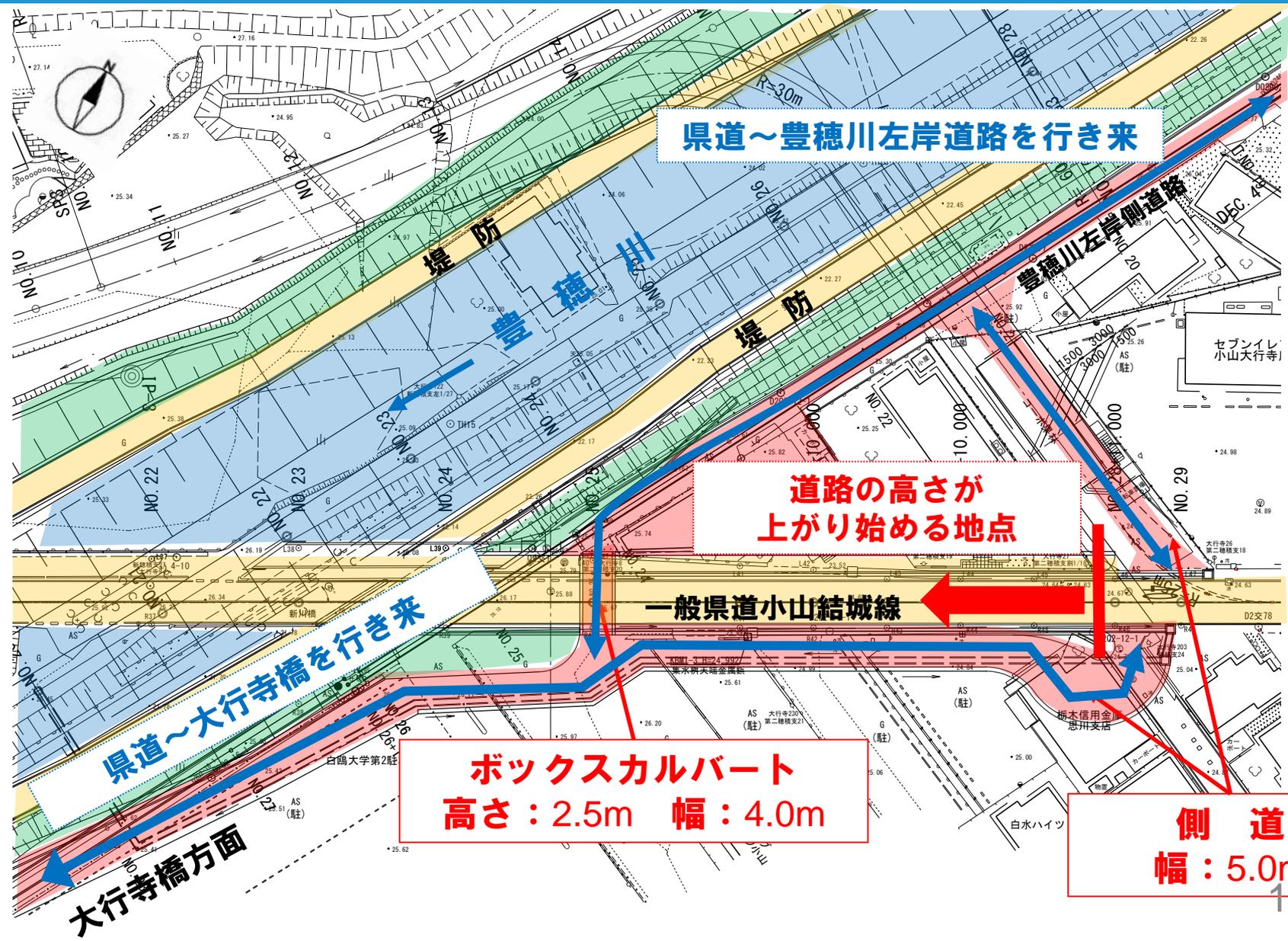


整備するボックスカルバートは幅員4.0m、高さ2.5mです。

側道整備計画平面図



側道計画平面図(市街化区域側)



県道～豊穂川左岸道路を行き来

道路の高さが
上がり始める地点

一般県道小山結城線

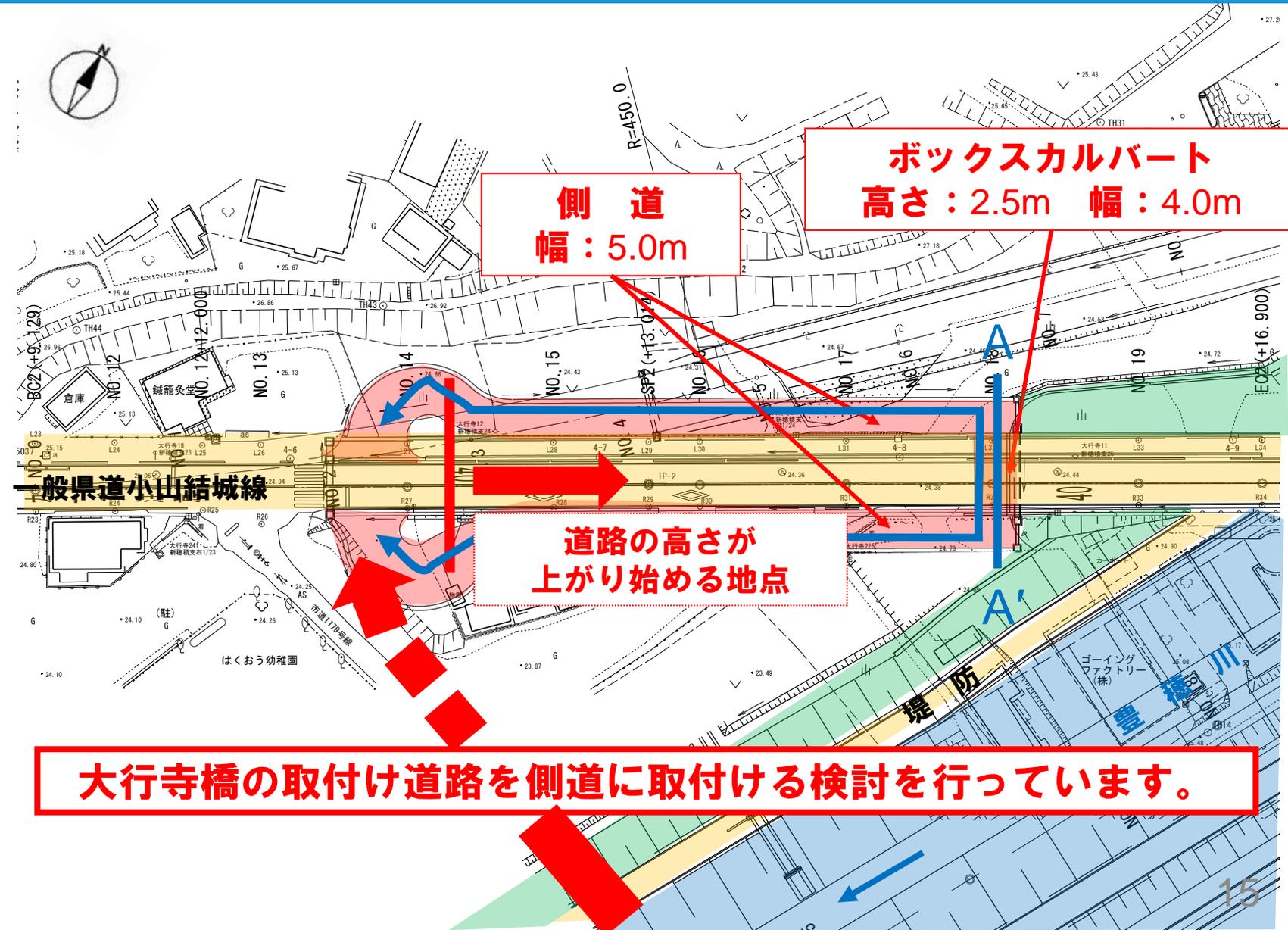
県道～大行寺橋を行き来

ボックスカルバート
高さ：2.5m 幅：4.0m

側道
幅：5.0m

大行寺橋方面

周辺道路平面図(市街化調整区域側)



**側道
幅：5.0m**

**ボックスカルバート
高さ：2.5m 幅：4.0m**

**道路の高さが
上がり始める地点**

大行寺橋の取付け道路を側道に取付ける検討を行っています。

側道横断図

A

A'

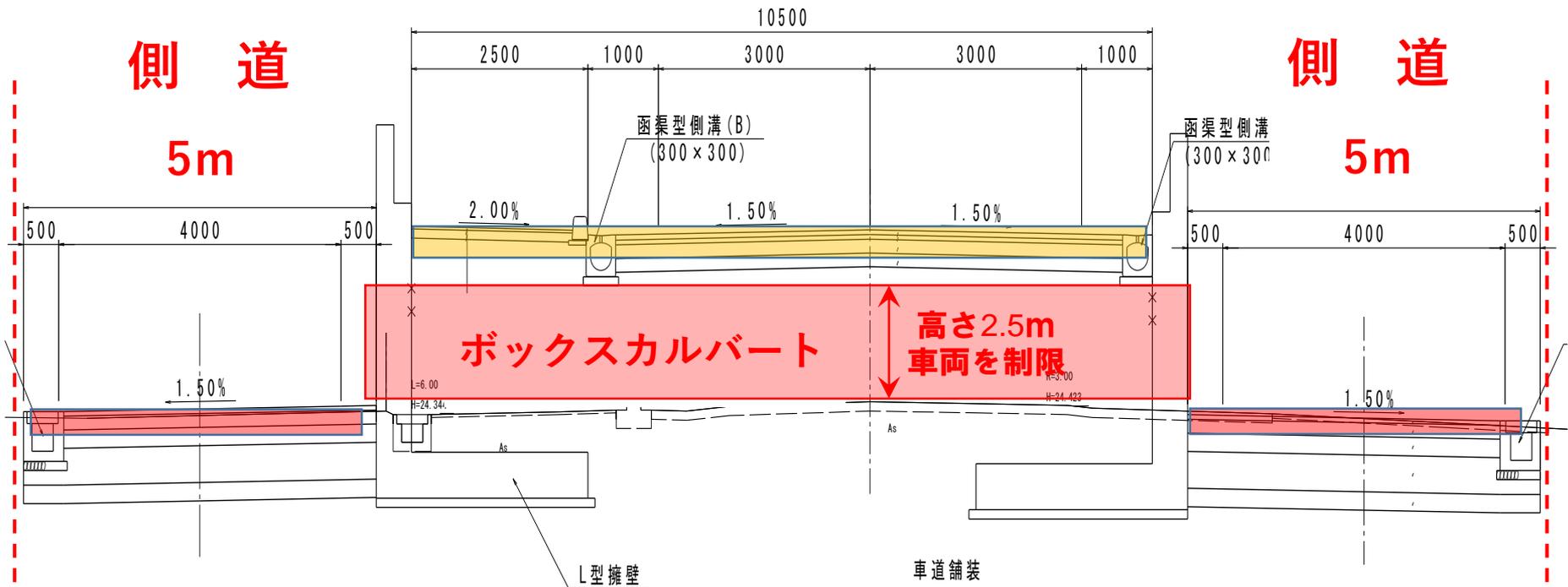
県道

側道

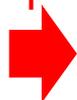
5m

側道

5m



沿線土地 (民地)



沿線土地 (民地)

今後の施工ステップ

新川橋架替工事 スケジュール

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
用地関係	道路詳細設計 迂回路用地	道路修正設計業務（迂回路修正） 事前交渉	借地契約・用地契約（迂回路） 側道（市道部）用地買収（小山市）		結城線拡幅部			
工事			旧橋撤去	仮橋・迂回路設置	下部工 右岸 P1橋脚	下部工 左岸（湧水期）	上部工 取付護岸工	迂回路撤去工
説明会等	○6月上旬 自治会長説明、 地元県議	○6月13日 豊穂川排水強化対 策協議会	○6月19日 豊穂川排水強化対 策地元説明会	○境界立会 4/10～14			道路工 （本線・側道・擁壁 等）	

最後に...

- 小山市・栃木土木職員一同できる限りの努力をいたしますので、みなさまのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします
- 減災・防災には自助共助が欠かせません